

SSI ニュースレター

2020 年度第 1 号

1. 2020 年度第 1 回理事会について

本年 6 月 6 日 (土) に 2020 年度第 1 回理事会がオンラインで開催されました。

入会者 (正会員 2 名), 会員ステータスの移動, 2019 年度事業報告と決算, 監査報告, 2020 年度事業計画と予算, 若手支援委員会の発足, 評議員選挙規則・役員候補者選出規則の改定, 選挙管理委員会の設置, 旅費規定の改定が認められました。選挙管理委員長は明治大学の後藤晶先生です。

また, 投稿論文の審査前におけるプレプリントについて協議し, 英文誌については今後これを認めていくこととしました。これにともなう規定等の改定については学会誌編集委員会で対応することになります。

2. 2020 年度社員総会について

同日, 2020 年度定時社員総会がオンラインで開催され, 2019 年度事業報告・決算報告・監査報告, 2020 年度事業計画・予算が承認され, あわせて会費等の金額に関する規程の変更も承認されました。2021 年 4 月から学生会員の会費は年額 1,000 円, 正会員 (減額) は年額 3,000 円になります。

また, 会員規則に従い, 伊藤守会員 (早稲田大学) が名誉会員として承認されました。

3. 若手支援研究助成を開始します

上記の通り, 新しく若手支援委員会が発足し (委員長は明治学院大学の櫻井成一朗先生), 今年度より若手支援研究助成を開始します。

対象となるのは, 本学会の若手 (博士取得 8 年未満もしくは博士課程在籍中の) 会員で, 1~2 件の研究に対して最大 40 万円を助成します。期間は 2021 年 1 月から 2021 年 12 月までで, 採択された方は本学会の学会誌 (和文誌または英文誌) に投稿していただきます。

正式な公募は 7 月以降に開始します。対象となる会員の方は, 奮ってご応募ください。

4. オンライン選挙導入に伴うメールアドレス確認のお願い

先日の理事会において, 来る 7 月に公示される予定の「評議員選挙」と「役員選挙 (理事と監事の選出)」はオンライン投票での実施となりました。現在, 投票システムを準備しておりますが, その実施のために, 選挙権者に個別の「シリアルナンバー」を送付

いたします。これは投票画面に入るためのパスワードのようなものです。選挙期間にこの送付を確実にを行うため、6 月いっぱいをかけまして、選挙権者のメールアドレスの確認を以下の要領で行います。

1) 対象者

正会員と団体会員 ※学生会員と名誉会員は選挙権を有さないなので確認は行いません。

2) 確認方法

6 月 10 日 (水) に事務局が管理しているメールアドレス宛に「氏名・所属・メールアドレス」を通知します。変更がある場合に限り、事務局に連絡してください。

3) 留意事項

1. メールアドレスを有していない会員の方は、恐れ入りますが、メールアドレスを取得いただいて、事務局にお知らせください。

2. 個別の通知の差出人は「社会情報学会 事務局」ですが、専用のメール配信サービスを用いて行うため、以下のドメイン名からのメール受信を可能にしておいてください。

`melmel.thunder-bird.biz`

3. 個別のメール通知の後に、学会ウェブページならびに会員メーリングリストでその旨をご案内します。メールが届いていない方はその旨を事務局にご連絡ください。

5. 2020 年度学会大会について

すでにメールでご案内の通り、9 月 5 日 (土)・6 日 (日) に同志社大学烏丸キャンパスで 2020 年度 SSI 学会大会を開催する予定です。学会大会ウェブサイトも開設されました。

<https://socio.xrea.jp/ssi2020/>

発表申込み締切りは 6 月 30 日 (火) 23 時 59 分です。以下の Google フォームからお申し込みください (学会大会ウェブサイト内にもリンクがあります)。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdiJPCGiIA1dQDoZrFy6Ujbe_P5aerNCxsDiMmaZ7odWBjv7A/viewform?fbzx=543959949531941406

ただし、下記の点にご注意ください。

- ・大会事務局が設定した発表可能件数に到達した時点で、締切日より前に募集を終了することがあります。
- ・ワークショップや連携報告は、プログラム構成上、お断りすることがあります。

【特記事項】

- ・本年度はオンラインによる学会大会開催の可能性がります。
- ・オンライン開催の場合は各部会に技術的サポート要員がつく予定です。
- ・その場合は原則としてオンライン発表をすることで学会発表として認める予定です。
- ・ただし、接続環境の問題や当日のトラブルなど、やむをえない事情がある場合は予稿提出で学会発表として認めることを検討しています。
- ・オンライン開催となった場合も開催校は同志社大学とする予定です。

一般社団法人社会情報学会
総務委員会

2019 年度事業報告

1. 学会大会

テーマ：「これからの社会を作る情報教育」

日時：2019年9月14日（土）、15日（日）

会場：中央大学 市ヶ谷田町キャンパス

参加者：169名

<http://sil.tamacc.chuo-u.ac.jp/ssi2019/program/>

2. 社会総会シンポジウム [定例研究会（政策部門）を兼ねる]

基調講演：藤原帰一（東京大学）

「グローバルアジェンダの構成と選択 ―SDGsの何が語られるのか―」

シンポジウム：「SDGsにおける社会情報の位置付けと意義とは？」

―考えるためのヒント―

日時：2019年6月1日（土）15:00-18:20

会場：東京大学 本郷キャンパス 工学部2号館9階93B教室

参加者：52名

3. 研究会

定例研究会（理論部門） [青山学院大学シンギュラリティ研究所イベントとの共催]

テーマ：AI 時代の「自律性」

登壇者：谷口忠大（立命館大学教授）／ドミニク・チェン（早稲田大学准教授）／河島茂生

日時：2019 年 11 月 22 日（金）18:30-20:00

場所：青山学院大学青山キャンパス 総研ビル（14 号館）12 階大会議室

出席者：120 名

定例研究会（政策部門） [公共コミュニケーション学会主催・SSI 協賛]

テーマ：被災地における情報・手段・技術を考える

登壇者：取出新吾（防災科学技術研究所）／松野豊（茨城県境町参与）／河井孝仁（東海大学）／佐藤忠文（熊本県立大学）／秋山和久（(株) タンシキ）

日時：2019 年 12 月 1 日（日）

会場：東京・日比谷図書文化館

定例研究会（実証部門）

テーマ：ポスト Society 5.0 における地域教育と ICT の可能性—海士町モデル以後の模索

登壇者：浅野大介（経産省）／林向達（徳島文理大学）／瀬戸昌宣（教育 NPO SOMA 代表）／澤田智則（土佐町教育委員会・教育長）／野田哲夫（島根大学）

日時：2019 年 12 月 21 日（土）15:00-18:00

場所：中央大学市ヶ谷田町キャンパス 501 教室

出席者：50 名

定例研究会（数理部門） [社会情報システム学研究会と共催]

第 26 回社会情報システム学シンポジウム

テーマ：「PHR/PLR の活用に向けた取り組みと課題」

日程：2020 年 1 月 31 日（金）

会場：立命館大学東京キャンパス

4. 若手企画

学会大会プレカンファレンス

テーマ：「計算社会科学と社会情報学——その実践と教育」

第 1 報告：瀧川裕貴（東北大学）

第 2 報告：川畑泰子（群馬大学）

日時：2019 年 9 月 13 日（金）17:00-20:00

会場：中央大学 市ヶ谷田町キャンパス 1F エントランスホール

第 14 回若手研究交流会

日本計画行政学会主催・SSI 協賛により、2020 年 3 月に開催の予定であったが、COVID-19 への対処法の先行きが見通せない状況を受け、発表者の発表資料をウェブ上で公開することで代替することとなった。

<http://www.japanpa.jp/info/1188/>

5. 機関誌

和文誌『社会情報学』を年 3 回（7 巻 3 号：2019 年 6 月 30 日，8 巻 1 号：2019 年 6 月 30 日，8 巻 2 号：2019 年 12 月 31 日）発行した。

英文誌『Journal of Socio-Informatics』を年 1 回（Vol.12, No.1: 2019 年 9 月）発行した。

6. 広報活動

学会ホームページ（Facebook を含む）の更新

会員メーリングリストを通じた配信（2019 年 6 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで 69 件），
学会ホームページの問題への修正

学会ニュースレターの発行年 3 回（6/25, 9/18, 2/1）

7. 表彰

以下の各賞を授与した。

学会功労賞 飯尾 淳氏（中央大学）

優秀文献賞 木村 忠正氏（立教大学）『ハイブリッド・エスノグラフィー：NC（ネットワークコミュニケーション）研究の質的方法と実践』

学位論文賞 白石 圭佑氏（立教大学）「情報行動としてのソーシャルゲーム利用に関する考察」

澁谷 遊野氏（東京大学）「Using Social Media Communication Data for Recovery: A Study Exploring the Possibility of Detecting Socio-Economic Activities Following a Disaster」

新進研究賞 白石 圭佑氏（立教大学）

澁谷 遊野氏（東京大学）

研究発表優秀賞 八木 翔太郎氏（東京大学）「特許から見る研究開発活動と企業価値に関する実証分析」

木下 浩一氏（京都大学）「民放ネットワークを通じた放送規制の間接的影響：クイズ番組による関西からの情報発信」

小西 利充氏（東京大学）「国際的な人的交流と経済活動に関する分析」

「国籍別高度専門職者と国際取引に着目して」

末岡 真里奈氏 (筑波大学) 「中高生のオンラインエスノグラフィ :

Twitter を利用している吹奏楽部員に着目して」

渡辺 優樹氏 (名古屋大学) 「行政データのオープンデータ化に向けた

スマートスピーカーの活用～自治体データを活用したごみ出し情報アプリの開発～」

8. 委員会

本学会が目的とする事業を達成するため下記委員会において、学会大会、シンポジウム、研究会等の開催、機関誌の発行、表彰、他機関との連携、社会情報に関する情報発信、その他について検討した。

総務委員会 年 1 1 回開催 (メール審議 10 回を含む)

研究活動委員会 年 3 回開催

大会企画委員会 年 2 回開催

学会誌編集委員会 年 3 回開催 (メール審議 1 回を含む)

広報ネットワーク委員会 年 1 回開催

表彰委員会 年 3 回開催

国際委員会 開催せず

渉外委員会 開催せず

9. 支部

〈北海道支部〉

開催なし

〈東北支部〉

2020 年 3 月 14 日 (土) に東北大学 (青葉山キャンパス) 情報科学研究科にて研究会の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、直前で開催中止を決定した。

『オルタナティブ・メディアとしての地域出版』としてのミニシンポジウム、および、大学院生、若手研究者を含む 6 名の研究発表を予定していた。

〈関東支部〉

2020 年 2 月 16 日 (日) に茨城大学水戸キャンパスにおいて研究発表会を開催

参加者は 26 名 (うち学会員は 13 名)

URL : <https://sites.google.com/view/2019-ssi-kanto>

研究発表セッション 7 件、ポスター発表セッション 10 件、計 17 件の発表

研究発表セッションとポスター発表セッションから 1 件ずつ、優秀発表賞を授与

〈中部支部〉

中部支部第 1 回研究発表会

日時：2019 年 12 月 14 日（土）8:50-17:20

開催場所：名古屋大学情報学研究科棟第 1 講義室

※芸術科学会中部支部、情報文化学会中部支部との合同開催

（参加者 62 名）

〈関西支部〉

第 4 回計算社会科学ワークショップを計算社会科学研究会らと共催した。

日時：2020 年 2 月 28 日（金）-3 月 1 日（日）

会場：神戸大学六甲台キャンパス フロンティア館 3 階 プレゼンテーションホール

コロナの影響によりオンライン開催（聴講）としたが、31 件の一般発表が行われた。

〈中国・四国支部〉

中国・四国支部第 1 回研究発表会

日時：2019 年 12 月 14 日（土）13:00～18:00

開催場所：島根大学（松江キャンパス）法文学部棟 2 階多目的室（207 室）

テーマ：自由論題

（参加者 16 名）

中国・四国支部第 2 回研究発表会

日時：2020 年 2 月 1 日（土）13:30～16:30

開催場所：高知大学（朝倉キャンパス）人文社会科学部棟 2 階・人文 3 番教室

テーマ：自由論題

（参加者 9 名）

〈九州・沖縄支部〉

学会大会（中央大学）での第八セッション WS1 九州・沖縄支部企画・運営

日時：2019 年 9 月 15 日（日）

テーマ：人工知能（AI）技術の発展と社会の変容 ～ AI の影響を適切に測るために ～

（参加者：20 名）

九州・沖縄支部 地域情報学研究会 【共催】熊本県山江村

日時：2019 年 11 月 9 日（土）13:30～17:30（開場 13:00～）

場所：熊本県球磨郡山江村 農村環境改善センター 2 階会議室

【テーマ】地域コミュニティの課題と未来

(参加者 28 名, 内会員 5 名)

九州・沖縄支部第 4 回 ICT 経済研究会

日時：2019 年 11 月 12 日 (火) 13:00~20:30

場所：九大伊都キャンパスイーストゾーン E-208 教室

【テーマ】ICT 経済の実証分析：ミクロ・マクロ・産業・グローバル

(参加者 27 名, 内会員 6 名)

九州・沖縄支部総会&研究報告会

日時：2020 年 2 月 13 日 (木) 13:30~16:30

場所：九州大学伊都キャンパス経済学部棟 (イースト 2 号館) 211 教室

(参加者 25 名, 内会員 6 名)

10. 総会

2019 年 6 月 1 日 (土) に社員総会を東京大学工学部 2 館 9 階 93B 教室において開催し、各種報告のほか、以下の付議事項を審議した。

付議事項	結果
第 1 号議案：法人継続の件	承認
第 2 号議案：理事会設置の件	承認
第 3 号議案：理事及び監事選任の件	承認
第 4 号議案：定款第五〇条第 2 項変更の件	承認
第 5 号議案：定款第九条第 2 項新設の件	承認
第 6 号議案：一般社団法人社会情報学会の会費等の金額に関する規程の変更の件	承認
第 7 号議案：2018 年度事業報告の承認に関する件	承認
第 8 号議案：2018 年度収支決算報告の承認に関する件	承認
第 9 号議案：2019 年度事業計画の承認に関する件	承認
第 10 号議案：2019 年度収支予算の承認に関する件	承認
第 11 号議案：名誉会員の承認に関する件	承認

11. 理事会

第 1 回理事会 6 月 1 日理事 12 名, 監事 2 名, オブザーバー 3 名が出席

第 2 回理事会 9 月 14 日理事 12 名, 監事 2 名, オブザーバー 2 名が出席

第 3 回理事会 12 月 21 日理事 10 名, 監事 2 名, オブザーバー 1 名が出席

第 4 回理事会 5 月 9 日理事 11 名, 監事 2 名, オブザーバー 3 名が出席

(第 4 回は当初 3 月 28 日を予定していたが社会情勢により延期開催となった)

12. 選挙

本年度は実施せず

13. 会員の移動状況

	2018年度末現在	2019年度末現在	増減
正会員	519	518	-1
学生会員	70	79	+9
名誉会員	6	7	+1
団体・賛助会員	5	4	-1

2020 年度事業計画

[目的]

社会情報学とその応用についての研究成果の公表，知識の交換，内外の関連学会との連携協力等を行うことにより，社会情報学の進歩と普及をはかり，学術の振興と社会の発展に寄与することを目的とする。

[事業]

上記の目的を達成するために，次の事業を行う。

- 一 学会大会，シンポジウム，講演会並びに研究会等の開催
- 二 機関誌，研究報告書，その他の刊行物の発行
- 三 その他必要と認められる事業

[個別の事業]

1. 学会大会

日時：2020年9月5日（土），6日（日）

会場：同志社大学 烏丸キャンパス 志高館（オンライン開催の可能性あり）

※9月4日（金）のプレカンファレンスについても企画を検討する

2. 社員総会シンポジウム [定例研究会（実証・政策部門）を兼ねる]

テーマ：情報〈科学・技術・社会〉の教育をめぐって

～情報知の区分を超えた情報教育の再考～（仮）

日時：2020年6月6日（土）15:00～18:00

（オンライン開催）

3. 研究会など

定例研究会・情報政策研究会を年に数回開催する。

若手研究交流会を年度末に開催する。

若手企画として下記を計画する

公募研究会の企画（ナショナリズム，移民，外国人の ICT 利用などのテーマ）

海外研究者とのネットワークづくり（国際カンファレンスなど）

最新研究手法についてのセミナー（学会員向け）を企画

テーマ：深層学習（基礎レベルから）

4. 機関誌

和文誌『社会情報学』を年 4 回（8 巻 3 号：2020 年 5 月，9 巻 1 号：2020 年 6 月，9 巻 2 号：2020 年 12 月，9 巻 3 号：2021 年 3 月）発行する。

英文誌『Journal of Socio-Informatics』を年 1 回（Vol.13, No.1: 2020 年 9 月）発行する。

5. 委員会

本学会が目的とする事業を達成するため，学会大会，シンポジウム，研究会等の開催，機関誌の発行，社会情報に関する情報発信，調査研究，提言作成，その他について検討するため，委員会を開催する。

また各種若手支援策を推進するために新たに若手支援委員会を発足させ，櫻井副会長を委員長とし，これまでの旅費助成・育志賞推薦事業のほか，新たに研究助成制度も今年度中にスタートさせる。

6. 支部

〈北海道支部〉

研究会開催を検討している。

〈東北支部〉

研究会を 2 月-3 月の間に開催する。

〈関東支部〉

11 月頃の研究会開催を検討する。

〈中部支部〉

研究会開催を検討している。

〈中国・四国支部〉

研究会開催を検討している。

〈九州・沖縄支部〉

学会大会（同志社大学）でのワークショップ企画・運営（2020 年 9 月 5～6 日）

テーマ：『情報通信白書』から読む社会情報学（仮）

「地域社会情報学」研究会【島嶼編】の開催（2020 年，時期・場所未定）

テーマ：島嶼における地域社会情報の在り方を考える

「地域社会情報学」研究会【九州編】＋公募型研究発表会の開催（2020 年 11 月中旬，場所未定）

「ICT 経済研究会」第 4 回の開催（2020 年 11 月下旬，於九州大学伊都キャンパス）

支部総会＋若手研究会の開催（2021 年 2 月中旬，於九州大学伊都キャンパス）

7. 総会

2020 年 6 月 6 日（土）に通常総会を開催し，2019 年度決算，2020 年度予算，他の議案について審議する。

8. 理事会

理事会を年 4 回以上開催する。

9. 選挙

2021 年度に改選予定の評議員選挙，理事・監事選挙を実施する。そのため選挙管理委員会を設置する。理事会において今回の選挙をオンラインで実施することが決議されたことから関連の諸規定の整備・業者委託などを行う予定である。

10. 事務局の負担軽減策

事務局機能の一部を業務委託する（勝美印刷）

収支決算案

一般社団法人社会情報学会

自 平成31年 4月 1日 至 令和 2年 3月31日 (単位:円)

大科目	中科目	小科目	決算額	予算金額	増減金額	備考
I 収入の部						
1 会費収入						
	正会員		3,840,000	4,000,000	-160,000	
	正会員(減額)		80,000	100,000	-20,000	
	学生会員		305,000	270,000	35,000	
	団体会員		400,000	360,000	40,000	
	賛助会員		0	0	0	
	過年度会費		440,000	300,000	140,000	
2 事業収入						
	学会大会余剰金		152,873	0	152,873	
3 雑収入						
	受取利息		84	0	84	
	著作権収入		52,193	30,000	22,193	
	その他雑収入		0	0	0	
当期収入合計	A		5,270,150	5,060,000	210,150	
II 支出の部						
1 事業費						
	和文学会誌発行費		1,037,000	900,000	137,000	年3回発刊、学会誌XML化費用
	英文学会誌発行費		106,700	150,000	-43,300	年1回発刊、翻訳
	学会誌査読料		367,488	300,000	67,488	和文誌、英文誌査読料
	会員名簿作成費		0	0	0	
	委員会運営費		619,766	800,000	-180,234	
	研究活動委員会		351,906	200,000	151,906	謝金、旅費、研究会アルバイト
	学会誌編集委員会		21,000	100,000	-79,000	旅費
	総務委員会		18,060	100,000	-81,940	会議用スピーカーフォン、旅費
	表彰委員会		228,800	250,000	-21,200	学会賞副賞、審査謝金
	国際委員会		0	50,000	-50,000	
	渉外委員会		0	50,000	-50,000	
	広報ネットワーク委員会		0	50,000	-50,000	
	支部助成費		110,000	40,000	70,000	東北支部
	関連学会費		83,230	150,000	-66,770	横幹連合、社会学系ワークショップ、日本学術協力財団他
	学会大会補助費		0	500,000	-500,000	
	シンポジウム開催費		30,000	40,000	-10,000	社会情報システム学シンポジウム共催金
	事業費合計		2,354,184	2,880,000	-525,816	
2 管理費						
	会議費、慶弔費		0	10,000	-10,000	会場費他
	旅費交通費		67,782	200,000	-132,218	理事会、総会交通費
	通信費		98,426	80,000	18,426	サーバー、NTT、切手、メール便
	消耗品費		56,280	100,000	-43,720	封筒、用紙、のし袋他
	業務委託費		1,022,000	1,300,000	-278,000	結方会計士、勝美印刷(事務局)
	支払手数料		29,129	20,000	9,129	振込手数料
	選挙費用		0	0	0	コピー、旅費、封筒、後納料金
	法人税等		70,000	200,000	-130,000	都税(均等割)
	租税公課		169,600	0	169,600	法人登記費用
	総会費用		45,546	0	45,546	謝金、弁当代、アルバイト代
	管理費合計		1,558,763	1,910,000	-351,237	
3 特別勘定繰入			0	0	0	
4 予備費						
	予備費支出		0	300,000	-300,000	
当期支出合計	B		3,912,947	5,090,000	-1,177,053	
当期収支差額	C = A - B		1,357,203	-30,000	1,387,203	
前期繰越収支差額	D		18,535,609	18,535,609	0	
次期繰越収支差額	C + D		19,892,812	18,505,609	1,387,203	

一般社団法人社会情報学会 特別会計決算書

平成31年4月1日—令和2年3月31日（単位：円）

2019年度決算金額		備考
I 収入の部		
1 雑収入		
特別会計繰入	0	
受取利息	24	
当期収入合計 A	24	
前期繰越収支差額	2,637,917	
収入合計 B	2,637,941	
II 支出の部		
1 事業費		
大会支援	80,510	
2 管理費		
振込手数料	864	
当期支出合計 C	81,374	
当期収支差額 A-C	- 81,350	
次期繰越収支差額 B-C	2,556,591	通帳残 2,637,077 円

一般社団法人社会情報学会 特別会計予算書

平成31年4月1日—令和2年3月31日（単位：円）

2019年度予算金額		備考
I 収入の部		
1 雑収入		
特別会計繰入	0	
受取利息	0	
当期収入合計 A	0	
前期繰越収支差額	2,637,917	
収入合計 B	2,637,917	
II 支出の部		
1 事業費		
海外支援	400,000	
大会支援	50,000	
2 管理費	0	
当期支出合計 C	450,000	
当期収支差額 A-C	0	
次期繰越収支差額 B-C	2,187,917	

2020年度予算

I収入の部		2020年度予算	増減金額	2019年度決算	
1 会費収入					
	正会員	3,840,000	0	3,840,000	
	正会員（減額）	0	-80,000	80,000	
	学生会員	0	-305,000	305,000	
	団体会員	300,000	-100,000	400,000	
	過年度会員	440,000	0	440,000	
2 事業収入					
	学会大会余剰金	0	-152,873	152,873	
3 雑収入					
	受取利息	0	-84	84	
	著作権収入	50,000	-2,193	52,193	
当期収入合計		4,630,000	-640,150	5,270,150	
II 支出の部					
1 事業費					
	和文学会誌発行費	1,000,000	-37,000	1,037,000	
	英文学会誌発行費	150,000	43,300	106,700	
	学会誌査読料	500,000	132,512	367,488	
	委員会運営費	1,050,000	430,234	619,766	
		研究活動委員会	500,000	148,094	351,906
		学会誌編集委員会	100,000	79,000	21,000
		総務委員会	30,000	11,940	18,060
		表彰委員会	230,000	1,200	228,800
		若手支援委員会	100,000	100,000	0
		国際委員会	30,000	30,000	0
		渉外委員会	30,000	30,000	0
		広報ネットワーク委員会	30,000	30,000	0
	支部助成費	130,000	20,000	110,000	
		東北支部	0	-110,000	110,000
		関東支部	30,000	30,000	0
		関西支部	50,000	50,000	0
		九州沖縄支部	50,000	50,000	0
	関連学会費	100,000	16,770	83,230	
	学会大会補助費	500,000	500,000	0	
	シンポジウム開催費	100,000	70,000	30,000	
	事業費合計	3,530,000	1,175,816	2,354,184	
2 管理費					
	会議費、慶弔費	10,000	10,000	0	
	旅費交通費	200,000	132,218	67,782	
	通信費	150,000	51,574	98,426	
	消耗品費	100,000	43,720	56,280	
	業務委託費	1,700,000	678,000	1,022,000	
	支払手数料	30,000	871	29,129	
	選挙費用	500,000	500,000	0	
	法人税等	100,000	30,000	70,000	
	租税公課	150,000	-19,600	169,600	
	総会費用	50,000	4,454	45,546	
	管理費合計	2,990,000	1,431,237	1,558,763	
3 予備費					
	予備費	500,000	500,000	0	
当期支出合計		7,020,000	3,107,053	3,912,947	
当期収支差額		-2,390,000	-3,747,203	1,357,203	
前期繰越収支差額		19,892,812	1,357,203	18,535,609	
次期繰越収支差額		17,502,812	-2,390,000	19,892,812	

SSI 特別会計

I収入の部			2020年度予算	増減金額	2019年度決算
1 雑収入					
	受取利息		0	-24	24
当期収入合計			0	-24	24
II 支出の部					
1 事業費					
	海外旅費支援		400000	400000	0
	大会旅費支援		50000	-30510	80510
	研究助成制度		800000	800000	0
	事業費合計		1250000	1169490	80510
2 管理費					
	振込手数料		1000	136	864
	管理費合計		1000	136	864
当期支出合計			1251000	1169626	81374
当期収支差額			-1251000	-1169650	-81350
前期繰越収支差額			2556567	-81350	2637917
次期繰越収支差額			1305567	-1251000	2556567